

CEFR-J レベル

A1.3

技能

Spoken Interaction

Can Do descriptor

趣味、部活動などのなじみのあるトピックに関して、はっきりと話されれば、簡単な質疑応答をすることができる。

⇒趣味、部活動などのなじみのあるトピックに関して、はっきりと話されれば、簡単な質疑応答を即興ですることができる。

タスク：

内容：同じクラスの留学生がクラブに入りたくて、適切な部活を見つけるために色々と聞く。部活について答える生徒も、自分の部活が留学生にとって適切かを判断するため、留学生に質問をしたり、質問に答えたりする。

形態：先生との面接形式とする。

手順

① 指示：「このカードを読んでください。読み終わったら顔を上げてください。」

② カード：

先生はあなたのクラスの留学生で、何か部活をやりたいと思っています。自分にあった部活を探すため、留学生（先生）があなたの部活について色々と質問をします  
ので、それに答えてください。また、あなたの部活が留学生に向いているかを判断するため、あなたも留学生に質問をしてください。

部活に入っていない人には、あなたの趣味について質問します。

カードを読み終わったら顔を上げてください。

③ すぐに始める。ストップウォッチで1分半測る。

④ 教員は質問を4つすることを目標とする。その中で What are some good points about the chorus club? のような、より多くの文を生徒が言える質問を1つは入れる。生徒から文の形での質問を、最低1つはさせるようにする。

⑤ 生徒が黙ってしまった時には、直前に言ったのと同じ言葉をゆっくり繰り返したり、それを言い換えたりして発話を引き出そうとしてみる。それを1回試みて発話が出ないときには次に行く。このレベルでは、生徒の発話が自発的に出てくるかを確かめるために、教員は次の発話をする前に最低5秒は待つ。

⑥ 理解を妨げるような誤った発話の時には、意味を確認する。それ以外の時には話を合わせて次に行く。

⑦ 話の途中でも、1分半後に会話をストップする。そこまでの発話で評価する。

(アウトプット) テキスト 1：この CEFR-J レベルで合格の会話

教員: What club do you belong to?

生徒: I belong to a chorus club. (1 個目 OK)

教員: How many students belong to the chorus club?

生徒: About 30. (2 個目 OK)

教員: On which days of the week do you practice?

生徒: We practice on Mondays and Wednesdays from three-thirty. (3 個目 OK)

教員: OK. Do you like your club? (これは次の質問をするための Prelude question のため、カウントなし) 生徒: Yes.

教員: What are some good points about the chorus club? (より多くの文を生徒が言えるように、このタイプの質問をする) 生徒: I like singing. And I like my friends in the club. (4 個目 OK)

教員: Oh, I can't decide. (このタイプの発言はして、質問を引き出す)

生徒: Do you like singing? (生徒からの質問 1 個目 OK)

教員: Yes, but I'm not so good.

生徒: Can you join all the practice? (生徒からの質問 2 個目 OK)

教員: I think so.

生徒: Then, you will become better.

教員: Thank you. This is the end of the task.

(4 つの質問すべてに答え、クラブの長所についての意見を言え、質問を 2 つして詳細を聞きだしているため、評点 3)

(アウトプット) テキスト 2: 生徒が部活に入っていない場合 (部活に入っていないと、すでに聞いている趣味と一緒にできそうなことを更に深めた会話になるが、細かな点を尋ねて難しすぎる会話にならないように注意する)

教員: Which club do you belong to?

生徒: No, I don't belong. (1 個目 OK)

教員: Oh, what do you usually do after school?

生徒: Going out with my friends. (2 個目 OK)

教員: What do you do with them?

生徒: I go to karaoke and we sing together. (3 個目 OK)

教員: Oh, I've never tried karaoke. (このタイプの発言はして、質問を引き出す)

生徒: ... Do you like singing? (生徒からの質問 1 個目 OK)

教員: Yes, but I'm not so good. What do you like most about singing? (より多くの文を生徒が言えるように、このタイプの質問をする)

生徒: It's fun. Let's go there together. (質問に対する答えとして不十分なのでカウントなし)

教員: Thank you. This is the end of the task.

(4 つの質問のうち 3 つに答え、質問を 1 つしている。詳細はない。フレーズレベルのものも一部あるため、評点 2)

(アウトプット) テキスト 3: 途中で沈黙など問題がある場合

教員: What club do you belong to?

生徒: ... (10 秒沈黙)

教員: What's your club? (言い換える)

生徒: Chorus. (1 個目 OK。この場合の沈黙は、What club do you belong to? が聞き取れなかった可能性もあるため、What's your club? で答えられればカウントする)

教員: How many students belong to the chorus club?

生徒: About 30. (2 個目 OK)

教員: On which days of the week do you practice?

生徒: We practice in the music room. (答えとして適切でない)

教員: In the music room? ... Do you like your club?

生徒: Yes. (これは次の質問をするための Prelude question のため、カウントなし)

教員: What are some good points about the chorus club? (より多くの文を生徒が言えるように、このタイプの質問をする)

生徒: ... (10 秒沈黙)

教員: What are some good points about the chorus club? (ゆっくり繰り返す)

生徒: ... (10 秒沈黙)

教員: Why do you like your club?

生徒: I like singing. (3 個目 OK)

教員: Oh, I can't decide.

生徒: ... (10 秒沈黙)

教員: カードを出す「質問してください」

生徒: ... (10 秒沈黙。1 分 30 秒たってストップウォッチが鳴る)

教員: OK, the chorus club sounds good. Thank you. This is the end of the task.

(5 つの質問のうち 3 つにフレーズで答え、質問は 0 個のため、評点 1。I like ... はフレーズとしてカウント)

#### 開発段階

第 1 期 (作成) 第 1 期 (実施) 第 1 期 (分析)

第 2 期 (改訂) 第 2 期 (実施) **第 2 期 (分析)**

#### メモ

教員が聞ける質問の例: より多くの文を生徒が言うように Open-ended な質問を最低 1 つは入れる。

What do you like most about the club?

What do you like least about the club?

Where do you usually do the club activities? Please describe the place.

Who is your best friend in the club? Please tell me more about him/her.

Tell me about the captain/leader (部長) of your club.

Tell me about the teacher who is in charge of the club (顧問の先生).

If you can change one thing about the club, what will you change? Why?

Why did you join the club?

What is the best memory about the club activities?

- ・生徒がどこまで話せるかを知るために、教員は手助けをしすぎないようにする。
- ・生徒は完全に受け身でよい形にするのではなく、生徒から質問を引き出す。質問しなかったら、「質問してください」のカードを見せ、文で質問できるかを確認。

#### 評価の目安:

- ・エラーがあっても、S+V の形の文章が何度か言える、かつ、質問も S+V の形で聞けたら評点 2。
- ・基本的に文章で答え、必要最低限の答え以上の情報を付け加え、自然なやり取りが楽にできると、評点 3

開発担当者: 金子恵美子